

令和4年度
事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日



学校法人 花田学園

東京有明医療大学

日本鍼灸理療専門学校

日本柔道整復専門学校

目 次

I. 法人の概要	
1. 基本方針	1
2. 法人の沿革	1
3. 設置する学校等	2
4. 役員に関する事	2
5. 評議員に関する事	2
6. 教職員に関する事	2
II. 事業の概要	
1. 東京有明医療大学	3
2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校	10
3. 法人本部	14
III. 入学試験に関する事	16
IV. 国家試験に関する事	17
V. 財務の概要	18
VI. その他	
1. 初年度学納金の推移	21
2. 表彰、奨学金・給付金等	22
3. 会議等実施報告	23

I. 法人の概要

1. 基本方針

教育基本法、学校教育法並びに文部科学省、厚生労働省の定める基準に準拠しつつ、創立者花田傳先生の崇高な建学の精神を継承し、医療の一翼を担うに足る人材の育成を教育目標とする。

昭和 31 年創立の日本鍼灸理療専門学校並びに日本柔道整復専門学校における、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の養成と共に、平成 21 年度より東京有明医療大学における大学教育並びに平成 25 年度からの大学院教育・研究を通じ、鍼灸並びに柔道整復の教育・研究と、看護教育・研究との融合を推進する。東洋医学・伝統医学・西洋医学の分野において、高度化する医療の担い手として確かな知識と医療技術さらに人格識見に優れた、より幅の広い医療人の育成を通じ、社会に貢献することを基本方針とする。

2. 法人の沿革

昭和 31 年	4 月	日本中央鍼灸専門学校設立・東京高等柔道整復学校設立
昭和 38 年	9 月	学校法人花田学園法人認可
昭和 39 年	4 月	日本鍼灸理療学校・日本柔道整復学校に校名変更
昭和 47 年	10 月	専科（鍼灸科）新設
昭和 54 年	7 月	専修学校医療専門課程認可 日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校に校名変更
平成 2 年	4 月	法改正に伴い、修業年限 2 年から 3 年に変更
平成 15 年	8 月	専攻科（アスレティックトレーナー）新設 *日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校
平成 20 年	10 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科認可
平成 21 年	4 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科開学
平成 24 年	11 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科認可
平成 25 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科開設
平成 26 年	10 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程認可
平成 27 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程開設

3. 設置する学校等

大学等	学部・研究科等	学 科	入学定員	収容定員	在籍者数(※)
東京有明医療大学	保健医療学部	鍼灸学科	60名	240名	189名
		柔道整復学科	60名	240名	222名
	看護学部	看護学科	50名	200名	244名
	保健医療学研究科(前期課程)		7名	14名	21名
	保健医療学研究科(後期課程)		2名	6名	
	看護学研究科		3名	6名	1名
日本鍼灸理療専門学校	本 科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)		120名	360名	413名
	専 科(鍼灸科)		60名	180名	
日本柔道整復専門学校	柔道整復科		120名	360名	80名

※在籍人数は、令和4年5月1日現在の学校基本調査の数値で表記

4. 役員に関すること (令和5年3月31日現在)

理 事(定数9名)	監 事(定数2名)
8名 (常勤4名・非常勤4名)	2名 (非常勤2名)

5. 評議員に関すること (令和5年3月31日現在)

評議員(定数20名)
20名 (常勤12名・非常勤8名)

6. 教職員に関すること

本務教職員数 137名 兼務教職員数 183名 合計 320名

区 分		法人本部	東京有明医療 大学	日本鍼灸理療 専門学校	日本柔道整復 専門学校	計
教 員	本 務	-	62名	20名	10名	92名
	兼 務	-	90名	79名		169名
職 員	本 務	3名	30名	8名	4名	45名
	兼 務	-	11名	3名		14名

平均年齢は、本務教員 (大学) 54歳 (専門2校) 50歳
 本務職員 (大学) 44歳 (専門2校) 40歳

※兼務とは、非常勤講師並びにアルバイト・パート雇用者をいう
 ※在籍人数は、令和4年5月1日現在の学校基本調査の数値で表記

II. 事業の概要

1. 東京有明医療大学

(1) 教育・研究関連事項（教育研究等の質の向上）

① 基礎学力の強化と検証

- ・授業については、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、学修機会の確保と感染対策の徹底の両立を図りつつ、基本的に対面で実施した。緊急対応として取り入れたオンライン授業についても、基礎学力向上や授業に出席できない学生への対応策の他、予習や復習等の補充教育、学生指導などに有効活用した。
- ・教授方法の工夫や学修成果の点検・評価については、授業評価アンケートや学生アンケート調査、アセスメント・テスト、アセスメント・ポリシー各項目の検証等を実施し、改善を図った。
- ・キャリア教育については、学生が大学において自らが学んだ内容と社会との関連を認識し、専門的知識の有用性や自ら職業について具体的に理解することにより、主体的に学修に取り組むことを動機付けるため、各学科学年でのガイダンスやセミナーを開催した。
- ・国家試験対策については、合格率の維持・向上のため、授業に加えて、補講や模擬試験、個別指導等により、新卒受験者の国家試験合格率は、はり師、きゅう師、看護師において全国平均を上回る結果となった。（結果については、P17「IV. 国家試験に関すること」参照）

② ディプロマ・ポリシーを反映させた教育の実践

- ・各学科とも工夫をこらし、卒業後（＝国家資格取得後）の就業する現場がイメージできるように、実習やセミナーを通して学生のサポートを行った。また、学科独自に低学年からキャリアについて関心を持たせる試みや、当該学科のディプロマ・ポリシーについての理解を深めるための全体講義を実施した。
- ・IR委員会では、学修行動調査における「ディプロマ・ポリシーの達成度」の調査結果を各学科に還元した。

③ 退学率の改善

- ・教員アドバイザーは、学生の授業欠席状況を日常的に確認し、欠席が続く学生にはアラートフローに則り、早期に学生面談等を実施し、授業の欠席から退学に至るケースを未然に防止するよう努めている。また成績不振や修学意欲が低下した学生を早期に把握出来るよう教職協働で行っている。
- また、近年の社会情勢より、経済的理由で在籍に不安を訴える学生が増えつつあり、学生課や学生総合支援室において情報共有しつつ、奨学金のアドバイスなど学生個々に応じ、きめ細かなサポートを行い、学修が継続できるよう支援している。

④ 教育成果の見える化

- ・過年度のGPA分布状況や、国家試験・資格試験合格率等を公式ホームページの情報公開で教育成果を可視化し学内外に示している。個々の学生対応について

はアクティブポータルを活用し、教職員は単位修得状況、GPA、卒業要件の達成度や授業出席状況、学生対応の履歴を記録した「学生サポートメモ」を確認することができ、これらを活用して学年アドバイザーを中心に学生指導を行った。また、看護学科においては、実習、演習科目を中心にルーブリック評価表を用い、専門科目の達成度評価を実施した。

- ・学生の教育・研究成果については、令和4年6月に本学で開催された全日本鍼灸学会学術大会において、鍼灸学科の学生2名の研究発表がなされ、1名には優秀賞が授与された。また、柔道整復学科では9月に卒業研究発表会を開催し、4年生48名が成果報告を行ったほか、12月に開催された第31回日本柔道整復接骨医学会学術大会で学生1名が口頭発表を行った。

⑤ 教育の質の向上

- ・FD委員会主催の研修会は、「看護学科におけるルーブリック評価表を用いた専門科目の達成度評価 --学生の主体的な学びと自律性を育む仕掛けづくり--」（7月）と「鍼灸学科、柔道整復学科における卒業研究の取り組み事例」（12月）を開催し、各学科の取り組みを共有するとともに、グループディスカッションや質疑応答を通じて、議論を深めた（当日参加できなかった教員に対してもオンデマンド配信にてフォロー）。
- ・授業評価アンケートにより、新カリキュラムについて一定の再評価を行うことができた。アンケートの全体集計結果は、学生及び教員にアクティブポータルで公表している。また、個々の授業科目の結果については、学生のコメントも含めて科目担当教員にフィードバックし、授業方法等の改善に役立てている。
- ・オンライン授業における授業教材配信の問題となる著作権に対応し、教育分野の著作権等の利用の円滑化を図るため、（一社）授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)に申請し、昨年度に引き続き制度適用を受けた。
また、図書館において国内医療系電子書籍約7,700冊を閲覧できるサービスを導入したほか、購読雑誌の電子化推進のため、国内外データベース4点を新規導入した結果、87誌から3,900誌へと大幅なタイトル増加が実現した。

⑥ 研究の質の向上

- ・公的研究費の管理体制及び研究倫理への取組みに対し、文部科学省のガイドラインを基に不正防止計画及び公的研究費執行ガイドブックの見直しを行った。また、外部の研究支援専門機関を通じ、研究活動におけるコンプライアンス及び不正行為、利益相反等研究倫理全般にわたる本学仕様のオンライン研修会DVDを作成、配信するとともに、各教員の理解度を確認するために同機関の理解度テストを実施しており、研究倫理教育一連の継続的な充実を図った。
また、IR委員会では、教員の研究を含めた取組状況や活動実績等を把握するため、教員業績調査を令和5年度から実施すべく、調査項目の決定および調査方法の検討を行い、実施の準備を整えた。

⑦ その他

○大学院生の将来設計

- ・大学院生は、TA（ティーチング・アシスタント）の登録をして、教員を補佐し授業をサポートする役割を担っている。このことは大学院生の教育力や指導力を高め、将来に役立てることができる。

○学生ニーズの把握と分析

- ・学修行動調査や授業評価アンケートにより、学生生活や学修に関する傾向を IR 委員会や FD 委員会で分析し、その結果を教職員に共有した。また、退学者の状況把握や分析を行い、直近の年度では、在学中の成績推移も含めた入学者全員の卒業までの追跡調査を行った。
- ・学生相談室及び総合支援室で障害者対策や学修支援など、教員との連携によるサポートを強化するとともに、学生ニーズの把握に努めた。
- ・各学科においては、学年アドバイザー等を中心に、個別指導・面談や日常の学生との歓談などによって、学生の学習意欲、出欠席、成績の状況やニーズについての把握に努め、必要に応じ教職員間で共有し、連携して対応した。

○他大学との連携

[保健医療学部]

鍼灸学科：マサチューセッツ薬科健康科学大学 (MCPHS) 等との交流は訪問中止。

柔道整復学科：モンゴル国立医療科学大学との交流は、教員派遣事業は中止。

先方の卒業要件となる本学での臨床実習、柔道、卒業共同研究等履修のための短期研修については、3月10日～24日の期間で研修生10名を受け入れた。

なお、令和3年4月に大学院博士前期課程に入学した2名の留学生は、所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格し、令和5年3月に修士（柔道整復学）の学位が授与された。

[看護学部]

シンガポール国立大学看護学部との交流は、先方の学生の来校は中止。本学学生のシンガポール国立大学における研修は、3月3日～12日の日程で8名が参加した。

(2) 教育環境（施設・備品等）関連事項（教育環境の整備）

① キャンパスの総合整備

- ・学修行動調査において学生からの要望が多かったトイレのウォシュレット機能について、令和4年5月に全個室トイレへの設置工事を行った。
また、定期点検の結果、設備の一部に経年劣化による故障が認められたため、必要な修繕を実施した。
- ・キャンパスの総合整備に関しては、本校舎竣工後14年が経過しており、今後の設備更新を視野に、建設会社の助言を受けながら長期的な設備保守管理計画案の作成に着手した。

その他、教育・研究や施設に関する主な機器・備品類の購入は以下のとおり。

教育・研究関係		その他施設・設備関係	
クリニック画像管理システム一式	125 万円	トイレ温水洗浄便座取付工事	768 万円
クリニック心電計一式	82 万円	図書館入館ゲートシステム一式	91 万円
教育研究機器(PC、プリンタ、カメラ、教材等 5 点)	108 万円	湧水排水ポンプ×2 台	42 万円

② サーバの整備

- ・現行サーバは1年間の保守延長を行い、新サーバへの移行については設計及び発注が完了し、作業を令和5年度に行うことになった。

③ コンピューター教室

- ・増設した卓上プロジェクターを授業で利用したが、スクリーンが16:10(WXGA)になっていないことを除き、画質は良好で特に問題は発生しなかった。

④ その他

○安全衛生管理

- ・前年度に引き続き、3回目のコロナワクチン職域接種を実施(4月16、17日他)。大学及び渋谷専門学校の学生、教職員の他、近隣(江東区内)教育機関の教職員を対象として延べ418名への接種を行った。

(3) 業務運営管理関連事項(業務運営・管理の改善)

① ガバナンスの強化

- ・令和4年度も学修行動調査を実施したほか、教員業績調査の実施に向け、調査項目等を決定した。
また、ガバナンスコードの策定に向け、参考となる資料の収集を行った。

② 内部統制の強化

- ・研究機関として、不正防止計画の公表並びに実施により、コンプライアンス研修の受講状況は良好であった。

③ 外部評価機関の活用

- ・(公財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審した。
令和4年10月13日、14日に実地調査が行われた。令和5年3月14日に『評価基準に適合している』との評価結果を得た。

④ 自己点検・評価の実施

- ・中長期計画(PDCAサイクル表)の進捗状況を管理し、計画の遂行状況の把握に努め、自己点検評価を実施した。また、前年同様に内部監査室による実施状況のヒアリングが行われ、評価委員会において報告を実施した。

(4) 運営・財務関連事項(財務基盤の安定)

① 入学者の確保

- ・令和5年度の入学者選抜は、保健医療学部の鍼灸学科、柔道整復学科とも定員割れとなった(志願者数、入学者数は前年度並み)。看護学部は、志願者数は

減少したものの、従来通り定員を確保した。

・学生募集に関しては、早期の受験校決定や年内合格志向など、選抜試験の多様化や変化に対応し、以下のような広報強化策を講じた。

- 1) 進学情報サイトの効果的な活用に向けた選定
- 2) スマートフォンの使用を前提とする Instagram や Line 等の SNS を活用した情報発信の充実
- 3) 新学習指導要領の移行を受けて実施される 2025 年度選抜試験を機に、魅力のある選抜方法や選考基準に見直すための検討、及び学校推薦型選抜の指定校推薦の高校指定における推薦可能人数やメリット等の検討
- 4) オープンキャンパス等への積極的な取り組み
 - ・早期に開催日程を決定し、募集を開始
 - ・対面型で実施し、感染対策を講じながら学科の特長や強みを分かりやすく、丁寧な説明によることを徹底
 - ・個別相談や学内見学の希望に応えられるように、ホームページからの申込みや学科の対応体制を整備

(過去 5 年の志願者・入学者の推移 (令和元年度～令和 5 年度)) (単位:人)

	定員	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
鍼灸学科	60	67	58	67	60	52	42	51	42	54	43
柔道整復学科	60	67	58	105	71	66	58	63	56	68	54
看護学科	50	251	60	291	60	236	61	211	64	163	60

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

(令和 4 年度オープンキャンパス参加実績)

	参加者計	鍼灸	柔整	看護
令和 4 年 3 月 21 日(月・祝)	26 名(3)	10 名(3)	16 名(0)	—
令和 4 年 5 月 22 日(日)	39 名(0)	16 名(0)	23 名(0)	—
令和 4 年 6 月 19 日(日)	151 名(0)	25 名(0)	25 名(0)	101 名(0)
令和 4 年 7 月 24 日(日)	61 名(0)	14 名(0)	47 名(0)	—
令和 4 年 8 月 7 日(日)	17 名(0)	17 名(0)	—	—
令和 4 年 8 月 13 日(土)	174 名(0)	23 名(0)	55 名(0)	96 名(0)
令和 4 年 8 月 14 日(日)	112 名(0)	—	—	112 名(0)
令和 4 年 8 月 28 日(日)	80 名(0)	24 名(0)	56 名(0)	—
令和 4 年 9 月 23 日(金・祝)	84 名(0)	10 名(2)	12 名(0)	62 名(0)
令和 4 年 10 月 16 日(日)	54 名(2)	6 名(2)	4 名(0)	44 名(0)
個別での来校者	124 名(17)	27 名(3)	29 名(6)	68 名(8)
合計	922 名(24)	172 名(10)	267 名(6)	483 名(8)

*() は、内数でオンラインでの参加数を示す

② 外部資金の獲得

- ・経常費補助金については少しずつではあるが増加傾向にあり、更に各調査票の項目を分析・検討し、増額を図っていく。
- ・科研費については、応募者に対して公的研究支援室による添削サービスを実施しサポートを行った。今後も同様のサポート体制を継続していく。

(単位:千円)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
一般補助	75,683	79,208	81,793	80,664	82,992
特別補助	5,158	4,729	3,681	2,262	1,988
計	80,841	83,937	85,474	82,926	84,980

外部資金獲得実績	文部科学省・日本学術振興会の科学研究費助成事業 ア. 研究代表者 (令和4年度交付額 813万円) <ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸学科 2件(内2件継続) ・柔道整復学科 1件(内1件継続) ・看護学科 5件 (内3件継続) イ. 研究分担者 (令和4年度交付額 300万円) <ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸学科 1件 ・柔道整復学科 4件 ・看護学科 5件 	
	特別研究費	・特別研究費 3件応募 3件採択 (209万円)

③ 物件費の削減

- ・物価の上昇に伴う値上げの影響は避けられず、購入数量等の見直しを行ったものの、経費削減は難しい状況であった。

④ その他

○光熱費の削減

- ・電気料金について、令和4年5月に契約電力会社より「電気供給が困難になった」旨の通知を受け当該契約は解約となるため、新たな供給先を検討したが、選定には至らず、やむを得ず従前の東京電力パワーグリッドと電気最終保障供給の契約を行った。その結果、料金単価が大幅に増加し、暖冬傾向による電気使用量の減少(前年比約10%)にもかかわらず、電気料金は増加することとなった。

(5) その他の報告
(校務報告)

令和4年	4月	入学式
		新入生オリエンテーション
		新入生健康診断
		前学期授業開始
		新型コロナワクチン職域接種(3回目)
		就職セミナー(看護学科4年)
	5月	就職ガイダンス(柔道整復学科4年)
	6月	東大病院導入研修(看護学科1年)
	7月	教養特別講座(湾岸警察署)(柔道整復学科1年)
		FD研修会
	8月	前学期学力評価期間
		基礎看護実習オリエンテーション、同実習(看護学科2年生)
	9月	領域別看護実習オリエンテーション、同実習(看護学科3年生)
		学外関連実習発表会(鍼灸学科4年)
		卒論発表会(柔道整復学科4年)
		後学期授業開始
	10月	論文中間発表会(保健医療学研究科)
		大学機関別認証評価・実地調査
	11月	大学祭
		看護師・保健師国家試験ガイダンス(看護学科4年)
解剖実習(於 東京医科歯科大学)(鍼灸学科2年)		
はり師きゅう師国家試験ガイダンス(鍼灸学科4年)		
12月	解剖実習(於 東京医科歯科大学)(柔道整復学科2年)	
	FD研修会	
令和5年	1月	附属鍼灸センター研修生成果発表会
		後学期学力評価期間(～2月)
	2月	修士・博士論文発表会(保健医療学研究科)
		就職ガイダンス(看護学科3年)
		修了発表(保健医療学研究科)
		卒業発表(各学科)
	3月	消防訓練(WEB視聴)
		シンガポール国立大学看護学部研修(看護学科)
		入学前授業(各学科)
		モンゴル国立医療科学大学 短期研修生来学(柔道整復学科)
		卒業式
		附属鍼灸センター修了式
		附属鍼灸センター入所式・オリエンテーション

2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校

(1) 教育・研究関連事項（教育研究等の質の向上）

① 自己評価・学校関係者評価の実施

- ・令和3年度自己評価並びにその結果に基づき学校関係者評価委員会を開催し理事会で評価意見等の報告を行った。また、評価意見の改善が翌年度に反映できるよう、次年度から開催時期を見直すこととした。

② 臨床の質の向上

- ・附属鍼灸院の被検者を確保する施策として当該鍼灸院のリーフレットを作成し治療院へ備付、若干ではあるが新規患者数を増加させることができた。引続き記載内容を更新し広く周知していく。

③ 専門実践教育訓練給付金制度

- ・当該年度より、柔道整復科第1部が対象校に再認定されたことで、全課程が対象となり、本年度末の対象者は鍼灸校127名、柔整校は4名となった。
- ・本制度の認定要件である学生の異動状況や国家試験合格率並びに就職サポート等の状況を引続き注視し管理していく。

④ 就職サポート体制の整備

- ・事業計画にあったサポート体制の整備には至らなかったものの、卒業クラスを対象に患者様等に対する接し方等の『接遇力について』のマナー講座を行った。引続き、サポート体制の整備については検討を進めていく。

⑤ 卒後教育並びに卒業生との連携・交流等

- ・卒後教育のひとつである、臨床技術の修得を目的とした日本鍼灸理療専門学校附属鍼灸院における臨床実習生の当該年度の受入れは、令和4年度は3名で、令和5年度研修生の希望は10名申込みとなり、近年増加傾向にある。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が続いていた「臨床技術研修講座」（一般財団法人東洋医学研究所主催）を2年ぶりに開催し、日本鍼灸理療専門学校の卒業生33名が受講した。

⑥ 国家試験の推移

- ・例年通り、卒業学年単位での補講や既卒者国家試験担当による補講等の指導を実施したが、鍼灸校は、はり師・きゅう師において昨年度合格率（既卒者含む）を下回る結果となった。柔整校については、昨年度合格率（既卒者含む）を上回る結果となった。
- ・近年、国家試験の出題レベルは難問が多い傾向にあり、日々の学生生活の中での管理（出席日数や、学内定期試験結果等）と密接に関連することから、担任のみならず科目担当教員によるフォローを徹底し、合格率のアップを目指したい。
（結果については、P17「IV. 国家試験に関すること」参照）

⑦ アスレティックトレーナー専攻科(附帯教育)の充実

平成15年の専攻科開設以来20年が経過し489名が修了、令和3年度までの合格者数は累計216名という結果で、令和4年度の結果は現時点で未発表である。

また、日本スポーツ協会の定める施設要件等が大きく変更されるため、その対応、対策が喫緊の課題である。

◆日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー検定試験年度別合格者数

平成 26 年度以前	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
111 名	15 名	17 名	17 名	13 名	17 名	17 名	9 名	216 名

(2) 教育環境（施設・備品等）関連事項（教育環境の整備）

① 教育環境の充実

- ・当該年度における校舎並びに設備の充実、図書整備等、教育環境整備を以下のとおり実施した。また、研究費は新型コロナウイルスの影響もあり 134 万円と前年度比 5 万円減の執行となったが、新たに自律神経研究班が発足し、自律神経の変化を可視化することのできる自律神経解析機器を購入し、臨床実習の充実を図った。

自律神経解析機器 PowerLab (1 台)	259 万円	人体骨格模型 (3 体)	74 万円
自律神経研究班 PC (1 台)	15 万円	今期図書購入額	32 万円
		内、寄贈図書分	0.2 万円

- ・継続的に検討してきた照明器具の LED 化は、次年度施工をすることで承認済である。その他、経年劣化等による施設・設備の更新計画等については引続き検討していく。

② 災害時に等における危機管理

- ・備蓄水の更新を行った。また、備蓄用品の拡充や危機管理マニュアルの更新を引続き検討していく。

(3) 業務運営管理関連事項（業務運営・管理の改善）

① 自己評価ならびに学校関係者評価の充実

- ・規程に基づき、両校において令和 3 年度の自己評価を行い、自己評価報告書をホームページに掲載、また、昨年度同様に私立専修学校教育環境整備費助成事業（専修学校評価促進）として東京都より補助金が交付された。
- ・学校関係者評価では、委員の選任期間の規程により 1 名が交代となった。評価については、令和 5 年 3 月の理事会で報告した。また、(1) ①記載のとおり、次年度は年度初めに評価実施計画を立て進めていく。

② 授業料減免制度の拡充等、学納金の検討

- ・引続き他校の情報等も収集し、多角的に検討する。

③ 学内研修の実施

- ・教職員を対象に、㈱リクルートより『ジェネレーション Z をヒモトク』を主眼と

した内容で、現在の外部環境（18歳人の減少、進学、就職の状況）等についての学内研修を初めて実施した。

(4) 運営・財務関連事項（財務基盤の安定）

① 入学者数等、学生の確保（入学者の推移）

- ・両専門学校ともに、受験者数の減少傾向が続き、近年、全学科の第2部と専科並びに柔道整復科の第1部で定員割れの状態である。本年（令和5年度生募集）の志願者数は、鍼灸校162名、柔道整復校25名と定員数を下回る受験者数で、本科第1部を除く学科で志願者数が定員数を下回り、本科第1部においても、志願者数が定員を若干上回る結果となった。

過去5年の志願者・入学者の推移（令和元年度～令和5年度）（単位：人）

		定員	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
本科	第1部	60	83	61	115	61	83	60	101	63	73	55
	第2部	60	54	30	73	44	62	40	85	59	52	39
専科	第1部	30	43	30	48	31	22	16	26	13	25	18
	第2部	30	31	24	27	16	17	14	15	6	12	6
柔道整復科	第1部	60	26	24	44	39	24	21	14	12	15	14
	第2部	60	6	4	10	6	3	2	9	8	10	5

- ・広報については以下のとおり実施した。

(進学情報サイト・インターネット等の効果的な利用)

新たに、(株)リクルートの『スタディサプリ』に参画し、更に周知するツールを増やした。また、SNS(LINE)を導入し受験希望者との接点を増加させた。Instagramでは、定期的に学生生活や学校行事等の魅力ある情報(写真)を発信させたことにより、目標フォロワー数1,000を超えることができた。

(各種イベントの充実・高等学校へのアプローチ)

学校説明会・見学会等の他に、新高校3年生を対象としたオープンスクールを企画し3月に開催した。ガバナンス・高校訪問等を実施し来校者の誘導を図った。

(学校案内・ホームページの充実)

受験生が必要とする情報を検討し、各校の魅力を発信した。また、新たな制作会社で次年度のHPリニューアルに向け制作を進めていく。

(幅広い受験生への周知・卒業生との連携)

社会人等に向けた広報活動の具体的な施策は引続き検討していく。また、入学を検討するケースとして紹介(卒業生等)も多い為、卒業生との繋がりを更に充実させ活用していきたい。

② 学費支援制度の充実

- ・日本学生支援機構の奨学金、教育訓練給付金制度、高等教育の修学支援新制度の対象者並びに実績は、以下のとおりとなった。また、学内における成績優秀者に対する学内特待生制度も例年通り実施した。各利用状況等についてはP22「VI. その他 2.表彰等」に記載。

【奨学金】 第一種、第二種並びに給付奨学金 対象者 … 52名

【専門実践訓練給付金】 鍼灸校 対象者 …127名、柔整校対象者 …4名

【高等教育の修学支援新制度】 対象者 …17名、授業料減免額 8,372,200円

【学内特待制度】 学内選考委員会にて成績優秀者が決定され、第1部並びに第2部において総額6,050,000円の授業料の減免を行った。

③ 学校説明会並びに会場ガイダンス等広報活動

- ・効率的を考慮した、費用対効果のある広報活動として(4)①に記載の広報活動を積極的に行った。結果については以下のとおり。

【会場ガイダンス等】 高校(会場)ガイダンス … 45校、資料頒布会 … 44校
高校訪問 … 18校

【学校説明会 参加者数】

	参加者計	鍼灸	柔整	両校
令和4年 5月22日(日)	39名	29名	7名	3名
令和4年 6月19日(日)	40名	31名	6名	3名
令和4年 7月10日(日)	41名	30名	9名	2名
令和4年 8月27日(土)	55名	41名	10名	4名
合計	175名	131名	32名	12名

【個別相談等 参加者数】

月曜から土曜日の午前10時から午後4時の間、参加者の希望する時間で実施し、計195名の参加者があった(前年192名、前々年219名)。昨年に引き続きリモートや電話対応による個別相談を実施した。

来校での参加者 …174名、リモートでの参加 …19名、電話対応 … 2名

(5) その他の報告

(校務報告)

令和4年	4月	学生健康診断
		入学式
		前期授業開始
		A T専攻科開講式
	7月	定期試験①
		あま指認定実技審査(3年生)
	9月	実力試験①
柔整卒業実技試験		

令和4年	11月	東洋療法学校協会統一模試（3年生希望者）
		定期試験②（3年生）
	12月	特別試験（鍼灸校3年生）
		特別試験（柔整校3年生）
		全国柔道整復学校協会模擬試験（3年生希望者）
令和5年	1月	実力試験②（3年生）
		解剖見学（3年生）
	2月	定期試験②（1,2年生）
		A T実技試験（AT理論試験合格者）
		実力試験②（1,2年生）
		国家試験（あんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師）
	3月	国家試（柔道整復師）
		A T専攻科修了式
		卒業式
		国家試験合格発表

3. 法人本部

(1) 業務運営管理関連事項（業務運営・管理の改善）

① 組織規程を中心とした諸規程の策定・改定

- ・学校法人花田学園 育児・介護休業規程の一部改正として、令和4年4月1日より段階的に法改正が行われ、第二段階の『出生時育児休業（産後パパ育休）の新設』並びに『育児休業の分割取得』について改正を行った。
- ・学校法人花田学園 職員給与規程の一部改正として、令和5年4月1日から適用となる時間外労働に対する割増賃金率の引上げについて改正を行った。

② 大学機関別認証評価の受審

- ・令和4年度に（公財）日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し、令和5年3月14日付けで『日本高等教育評価機構が定める評価基準に適合している』と認定された。（前回受審は、平成27年度）

③ 公用車の更新

- ・事業計画通り令和4年5月、環境に配慮した水素燃料電池車両に更新した。

④ 人事管理システムの導入

- ・人材情報のデータベース化として人材マネジメントシステム『カオナビ』を導入した。まずは人事情報に関する個人情報の入力を進め、今後の対応として当該システムの機能を生かし発展的な管理運用（ワークフロー・人事評価等）を図る。

⑤ 監事・独立監査人・内部監査部門の連携

- ・昨年に引き続き、内部監査機能の更なる強化を目的に、監事、独立監査人及び内部監査室による三様監査を行った。

◆内部監査室

内部統制を図るうえで、定期監査（会計監査8回（渋谷、有明各4回）、公的研究費監査1回）を実施するとともに、相互補完的に位置付けられている監事・会計監査・内部監査室による三様監査を効果的に進め、定期的に必要な情報を相互交換し、理事長に監査の報告を行った。

また、東京有明医療大学中長期計画のPDCAサイクル実施状況(令和3年度分)について、各部署に対し業務実施状況のヒアリングを実施した。

⑥ 専門学校統合の検討

- ・平成29年度より事業計画として検討されてきた専門学校2校の統合については、現状の改善に向けた重要課題として引き続き検討していく。

(2) 財政基盤の安定

① 中期計画進捗状況等の確認

- ・第1期中期計画に基づき、実施状況を把握し課題等に取り組んだ。
- ・第2期中期計画の立案に向け検討を進めていく。

② 金融資産の運用・管理

- 1) 花田学園資産運用規程に従い、運用財産残高を管理している。令和5年3月末の運用財産合計39億4,496万円の内訳は、運用有価証券合計8億2,926万円、定期預金9億円、現預金22億1,570万円で、資産運用規程の運用有価証券割合45%以下に対し21%であり規程の範囲内である。
- 2) 令和4年度は、定期預金を増額し、債券の償還と株式の売却資金を投資信託の運用に再配分し、運用割合の見直しを図ったことにより、令和5年3月末の運用有価証券全体の時価評価において、評価損益は、9,273万円の含み益となり、個別銘柄において決算書注記への記載、簿価の強制低価処理等の対応に該当するものはなかった。
- 3) 令和4年度の実受利息収入年間合計は約2,434万円となった。
- 4) 運用規程を遵守して運用資産残高管理を行い、低リスク資産(定期預金等)を一定額確保した上で、金融経済市場の情勢に注視しながら、リスクとリターンバランスに留意し、運用商品の特性に応じたポートフォリオの見直しを行い、資産の成長を図る。

— 保有運用有価証券内訳 —

種 類	貸借対照表計上額	構成比
債 券(仕組債)	200,000,000 円	24.12%
株 式	198,955,070 円	23.99%
投資信託	430,301,366 円	51.89%
合 計	829,256,436 円	100.0%

③ 経営及び維持管理体制の強化

- ・入学者定員充足状況並びに在籍者の休退学状況を基に、大学の各学部、学科、専門学校各校ごとの部門収支を把握し、中期計画の骨子でもある適正な人件費並びに教育研究経費の確保に向けた管理を行った。
- ・経年劣化等による将来的な修繕計画策定のため、大学においては、校舎・設備の設計施工をした建設会社に建物簡易診断調査の実施を依頼し、今後10年間

の更新費用の推定報告を受けた。計画的な設備拡充に備えるため、特定資産の引当を積み増した。

④ 保有資産の管理

- ・住友不動産によるインフォスタワーメンテナンス計画に基づき、区分所有者として当該年度は外壁工事の費用を負担した。今後、渋谷桜丘等地区開発に伴い外構のリニューアル等も検討され、費用負担の増加も考えられる為、適宜確認しておく。
- ・花田メディカルビルの築年数の経過による、建物の維持管理については耐震診断を含め引き続き検討する。

(主な施設等の状況)

区 分	土 地		建 物		備考
江東区有明	大学校地	9,000.00 m ²	有明校舎	15,482.33 m ²	
渋谷区桜丘	専門学校校地	509.04 m ²	渋谷校舎	3,295.16 m ²	
渋谷区桜丘	メディカルビル	187.24 m ²	メディカルビル	805.50 m ²	

⑤ デジタルトランスフォーメーション (DX) 対応

- ・令和4年度末、年末調整の申請に対応する『WEB 年末調整システム』を導入し養控除申告や保険料控除申請等を PC 並びにスマートフォンから申請することによりペーパーレスが実現できた。

Ⅲ. 入学試験に関すること ※令和5年度入学生（令和4年度入試実施）（令和5年5月1日現在）

（東京有明医療大学）

【保健医療学部】 入学定員 鍼灸学科 60名 柔道整復学科 60名

【看護学部】 入学定員 看護学科 50名 （定員倍率=志願者数/定員）

（単位：人）

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						現役	既卒		令和元2年	令和3年	令和4年
保健医療学部	鍼灸学科	54	45	0.9	43	40	3	18.19	67	52	51
	柔道整復学科	68	61	1.13	54	54	0	18.17	105	66	63
	合計	122	106	1.01	97	94	3	18.18	172	118	114
看護学部	看護学科	163	87	3.26	60	58	2	18.32	291	236	211
	合計	163	87	3.26	60	58	2	18.32	291	236	211
総 数		285	193	1.68	157	152	5	18.23	463	354	325

【大学院 保健医療学研究科】 入学定員 博士前期課程 7名(令和2年度生以前5名)

博士後期課程 2名

【大学院 看護学研究科】 入学定員 修士課程 3名(令和2年度生以前5名)

(単位:人)

	志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	職歴		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)			
					有	無		令和元年	令和2年	令和3年	
保健医療学研究科	博士前期課程	6	6	0.86	6	1	5	24.17	4	7	7
	博士後期課程	1	1	0.5	1	0	1	32.00	2	4	2
看護学研究科	修士課程	0	0	-	0	0	0	-	2	0	1
総数	7	7	0.58	7	1	6	27.57	8	11	10	

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

【日本鍼灸理療専門学校】 入学定員 本科各部 60名 専科各部 30名

【日本柔道整復専門学校】 入学定員 柔道整復科各部 60名

(単位:人)

	志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)			
					大卒	高卒		令和2年	令和3年	令和4年	
本科	第1部	73	56	1.22	55	33	12	26.16	115	83	101
	第2部	52	41	0.87	39	23	4	30.90	73	62	85
	計	125	97	1.04	94	56	16	28.13	188	145	186
専科	第1部	25	18	0.83	18	5	5	29.39	48	22	26
	第2部	12	6	0.40	6	4	1	27.00	27	17	15
	計	37	24	0.62	24	9	6	28.79	75	39	41
鍼灸合計		162	121	0.90	118	65	22	28.26	211	184	227
柔整科	第1部	15	15	0.25	14	4	10	20.00	44	24	14
	第2部	10	5	0.17	5	4	1	39.40	10	3	9
柔整合計		25	20	0.21	19	8	11	25.11	32	27	23
2校合計		187	141	0.62	137	73	33	27.82	317	211	250

IV. 国家試験に関すること

令和4年度実施の国家試験の合格状況は以下のとおり(国家試験新卒合格率の過去3年間推移)

(試験日)

- 保健師 …令和5年2月10日(金) ●看護師 …令和5年2月12日(日)
- はり師・きゅう師 …令和5年2月26日(日)
- あん摩指圧マッサージ師 …令和5年2月25日(土)
- 柔道整復師 …令和5年3月5日(日)

(東京有明医療大学)

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均新卒合格率
令和2年度	鍼灸学科	はり師	79.3%	87.8%
		きゅう師	79.3%	89.1%
	柔道整復学科	柔道整復師	84.4%	85.6%
	看護学科	看護師	98.3%	95.4%
		保健師	100.0%	97.4%

令和3年度	鍼灸学科	はり師	100%	90.2%
		きゅう師	100%	91.3%
	柔道整復学科	柔道整復師	87.1%	81.0%
	看護学科	看護師	98.2%	96.5%
保健師		92.9%	93.0%	
令和4年度	鍼灸学科	はり師	92.5%	85.5%
		きゅう師	92.5%	85.9%
	柔道整復学科	柔道整復師	63.6%	65.4%
	看護学科	看護師	100%	95.5%
保健師		85.7%	96.8%	

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均 新卒合格率
令和2年度	本科	はり師	85.8%	87.8%
		きゅう師	85.8%	89.1%
		あん摩マッサージ指圧師	96.2%	94.0%
	専科	はり師	67.6%	87.8%
		きゅう師	70.3%	89.1%
	柔道整復科	柔道整復師	91.3%	85.6%
令和3年度	本科	はり師	93.1%	90.3%
		きゅう師	93.1%	91.4%
		あん摩マッサージ指圧師	98.9%	94.7%
	専科	はり師	87.5%	90.3%
		きゅう師	89.5%	91.4%
	柔道整復科	柔道整復師	63.2%	81.0%
令和4年度	本科	はり師	85.7%	85.5%
		きゅう師	85.7%	85.9%
		あん摩マッサージ指圧師	96.9%	97.3%
	専科	はり師	78.0%	85.5%
		きゅう師	73.2%	85.9%
	柔道整復科	柔道整復師	59.4%	65.4%

V. 財務の概要

(決算の概要)

・貸借対照表の状況

資産の部合計約146億3,560万円と昨年度より約5,200万円減少し、負債の部合計約6億5,769万円と昨年度より約2,480万円増加、基本金組入を行った後の繰越収支差額は約△9億3,255万円の結果となった。

主な要因として、資産の減少は減価償却による減少で、負債の増加は、退職給与引当金や未払金の増加、前受金の減少などが要因であった。

・収支計算書の状況

新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、予定通りの学事を終えることができた。

資金収支では、単年度収支で1億5,309万円の収入減となった。当該年度では、次年度入学予定者からの前受金が減少し、通常通りの学事に戻りつつある経費として教育研究経費並びに管理経費支出が増加となった。

事業活動収支では、教育活動収支約△9,175万円と、教育活動外収支約2,417万円より経常収支差額は△6,757万円となり、特別収支差額の約△914万円を加え、基本金組入前当

年度収支差額は約△7,671万円となった。

基本金組入及び取崩△約1,000万円より、翌年度繰越収支差額は約△9億3,255万円の結果となった。

・経年比較(直近3年間)

1) 貸借対照表

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	11,805,682	11,653,604	11,764,721
流動資産	2,819,940	3,033,934	2,873,985
資産の部合計	14,625,622	14,687,538	14,638,706
固定負債	121,036	120,277	131,724
流動負債	451,908	512,636	529,352
負債の部合計	572,945	632,913	661,076
基本金の部合計	14,842,808	14,900,571	14,910,457
繰越収支差額	△790,131	△845,946	△932,827
純資産の部合計	14,052,677	14,054,625	13,977,629
負債及び純資産の部合計	14,625,622	14,687,538	14,638,706

2) 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒納付金収入	1,980,367	1,949,091	1,958,367
手数料収入	22,050	22,175	19,719
寄付金収入	1,940	1,920	2,000
補助金収入	132,044	140,766	138,252
資産売却収入	299,525	0	145,760
付随事業・収益事業収入	51,566	66,296	56,226
受取利息・配当金収入	26,345	23,443	24,337
雑収入	26,142	53,143	51,225
前受金収入	388,312	419,798	381,938
その他の収入	87,802	42,513	58,322
資金収入調整勘定	△510,196	△433,319	△452,572
前年度繰越支払資金	2,608,402	2,780,505	2,968,793
収入の部合計	5,109,799	5,066,330	5,352,365
支出の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	1,521,764	1,539,974	1,512,343
教育研究経費支出	313,120	349,510	417,149
管理経費支出	116,002	111,584	121,279
施設関係支出	6,212	39,765	11,268
設備関係支出	44,574	41,504	12,360
資産運用支出	274,392	34,148	502,897
その他の支出	112,827	67,785	98,738
資金支出調整勘定	△59,596	△86,769	△139,374

次年度繰越支払資金	2,780,505	2,968,793	2,815,705
支出の部合計	5,109,799	5,066,330	5,352,365

3) 事業活動収支計算書

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収入	2,208,835	2,230,423	2,228,910
教育活動支出	2,221,363	2,259,776	2,320,656
教育活動収支差額	△12,528	△29,353	△91,746
教育活動外収入	29,241	23,443	24,337
教育活動外支出	300	0	163
教育活動外収支差額	28,941	23,443	24,174
経常収支差額	16,413	△5,910	△67,572
特別収入	18,433	10,036	5,572
特別支出	1,644	2,179	14,713
特別収支差額	16,789	7,857	△9,141
予備費	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	33,202	1,947	△76,713
基本金組入額合計	△41,427	△57,763	△14,916
当年度収支差額	△8,224	△55,815	△91,629
前年度繰越収支差額	△783,006	△790,131	△845,946
基本金取崩額	1,099	0	5,030
翌年度繰越収支差額	△790,131	△845,946	△932,545

4) 主な財務比率比較

	算式	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	88.49%	86.48%	86.91%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	5.48%	6.22%	6.12%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	68.83%	68.64%	67.85%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	24.49%	25.85%	29.07%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.93%	5.77%	6.08%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	1.79%	2.55%	△0.44%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産(※)}}{\text{総負債+純資産}}$	95.9%	95.7%	95.48%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	80.7%	79.3%	80.37%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	19.3%	20.7%	19.63%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	724.4%	707.2%	737.21%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	0.8%	0.8%	0.90%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	3.1%	3.5%	3.62%

※純資産=基本金+繰越収支差額

(関連当事者との取引)

本年度も理事、監事及び評議員に対し調査を行い、関連当事者取引がないことを確認した。

VI. その他

1. 初年度学納金の推移 ※過去3年間の推移

(東京有明医療大学)

(単位：円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
授業料	鍼灸学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	柔道整復学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	看護学科	1,100,000	1,100,000	1,100,000	
実習費	鍼灸学科	325,000	325,000	325,000	
	柔道整復学科	325,000	325,000	325,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
施設設備費	鍼灸学科	350,000	350,000	350,000	
	柔道整復学科	350,000	350,000	350,000	
	看護学科	350,000	350,000	350,000	
入学金	鍼灸学科	300,000	300,000	300,000	
	柔道整復学科	300,000	300,000	300,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
合計	鍼灸学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	柔道整復学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	看護学科	2,050,000	2,050,000	2,050,000	
入学検定料		35,000	35,000	35,000	

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

(単位：円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考	
授業料	本科	1,100,000	1,100,000	1,100,000		
	専科	900,000	900,000	900,000		
	柔道整復科	1,040,000	1,040,000	1,040,000		
施設費	本科	130,000	130,000	130,000		
	専科	130,000	130,000	130,000		
	柔道整復科	130,000	130,000	130,000		
入学金	本科	第1部	700,000	700,000	700,000	
		第2部				
	専科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
	柔道整復科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
合計	本科	第1部	1,930,000	1,930,000	1,930,000	
		第2部				
	専科	第1部	1,630,000	1,630,000	1,630,000	
		第2部	1,430,000	1,430,000	1,430,000	
	柔道整復科	第1部	1,770,000	1,770,000	1,770,000	
		第2部	1,570,000	1,570,000	1,570,000	
入学検定料		30,000	30,000	30,000		

2. 表彰、奨学金・給付金等
(東京有明医療大学)

●成績優秀者及び経済的困難者への授業料減免制度

1 成績優秀者	学部・学科毎に学業成績最優秀者を決定し、3 学年までの各学科 1 名の計 9 名に対し授業料を減免	減免額 40 万円
	学部・学科毎に学業成績優秀者(2 位、3 位)を決定し、3 学年までの各学科 2 名の計 18 名に対し授業料を減免	減免額 2 位者 15 万円 3 位者 5 万円
2 一般選抜成績優秀者	各学科入学生のうち 1 名ずつの計 3 名に対し授業料を減免	減免額 40 万円
3 経済的困難に対する授業料減免	7 名	減免額各 25 万円 合計 175 万円
4 経済的困難(家計急変)に対する授業料減免	2 名	減免額 80 万円

※他、優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

●日本学生支援機構の令和 4 年度採用の奨学金

	種別	在学採用	臨時採用	予約採用	計
学部生	一種・二種	36 名	0 名	42 名	78 名
	給付	6 名	0 名	16 名	22 名
大学院生	一種・二種	0 名	0 名	4 名	4 名

●高等教育の修学支援新制度(うち授業料減免分)

学部	学科	対象数	減免額
保健医療学部	鍼灸学科	18 名	10,340,400 円
	柔道整復学科	25 名	15,387,500 円
看護学部	看護学科	25 名	14,683,800 円
合計		68 名	40,411,700 円

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

●学内特待制度(成績優秀者への授業料減免制度)

成績優秀者	学科・部毎に成績最優秀者を決定 日本鍼灸理療専門学校 22 名 4,550,000 円	授業料の減免額 (本科・柔道整復科) 1 位 30 万・2 位 15 万・3 位 10 万 (専科) 1 位 25 万・2 位 15 万 ※各学年における定員カバー率によつて異なる
	日本柔道整復専門学校 06 名 1,500,000 円	

上記の他、卒業式や学年終業時に優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

●日本学生支援機構の令和 4 年度採用の奨学金

	種別	定期採用	臨時採用	予約採用	計
日本鍼灸理療専門学校	一種・二種	26 名	4 名	7 名	37 名
	給付	0 名	0 名	4 名	4 名
日本柔道整復専門学校	一種・二種	2 名	0 名	7 名	9 名
	給付	0 名	0 名	2 名	2 名

●高等教育の修学支援新制度（うち授業料減免分）

	対象者数	減免額
日本鍼灸理療専門学校	10名	4,512,100円
日本柔道整復専門学校	7名	3,860,100円
合 計	17名	8,372,200円

3. 会議等実施報告

(法人本部)

●理事会

	開催日	主な議題等	備 考
第1回	令和4年 5/26 (木)	1. 令和3年度事業報告書(案)の承認について 2. 令和3年度収支決算報告書(案)の承認について -報告事項- ・令和4年度大学機関別認証評価受審について	
第2回	11/17 (木)	1. 学校法人花田学園 育児・介護休業規程の改正について -報告事項- ・令和4年度会計中間報告について ・令和4年度大学機関別認証評価受審について	
第3回	令和5年 3/22 (水)	1. 令和4年度補正予算(案)について 2. 令和5年度事業計画書(案)について 3. 令和5年度収支予算書(案)について 4. 学校法人花田学園 職員給与規程の一部改正について 5. 令和5年度1契約1千万を超える契約について 6. 理事会議決による人事異動等について -報告事項- ・令和4年度大学機関別認証評価報告書について ・私立学校法の一部を改正する法律案について ・令和5年度監事監査重点項目について ・令和5年度東京有明医療大学における公的研究費不正防止計画について ・令和3年度専門学校 学校関係者評価報告について ・資産運用状況報告について ・令和5年度理事会・評議員会の開催予定について	

●評議員会

	開催日	主な議題等	備 考
第1回	令和4年 5/26 (木)	1. 令和3年度事業報告書について 2. 令和3年度収支決算報告書について -報告事項- ・令和4年度大学機関別認証評価受審について	
第2回	11/17 (木)	1. 学校法人花田学園 育児・介護休業規程の改正について -報告事項- ・令和4年度会計中間報告について ・令和4年度大学機関別認証評価受審について	
第3回	令和5年 3/24 (木)	1. 令和4年度補正予算(案)について 2. 令和5年度事業計画書(案)について 3. 令和5年度収支予算書(案)について 4. 学校法人花田学園 職員給与規程の一部改正について 5. 令和5年度1契約1千万を超える契約について -報告事項- ・令和4年度大学機関別認証評価報告書について ・私立学校法の一部を改正する法律案について ・令和5年度監事監査重点項目について ・令和5年度東京有明医療大学における公的研究費不正防止計画について ・令和3年度専門学校 学校関係者評価報告について ・資産運用状況報告について ・令和5年度理事会・評議員会の開催予定について	

(東京有明医療大学)

名 称	開催頻度	審 議 内 容 等	R4 年度 開催数
大学協議会	毎月 1 回	学則その他学内諸規則の制定・改廃、教育・研究、教員人事の基準、学生の身分・厚生指導及びその他大学の運営に関する事項	12 回
教授会 (保健・看護)	毎月 1 回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が教授会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該学部に関する重要事項	保 14 看 16
研究科委員会 (保健・看護)	毎月 1 回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が委員会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該研究科に関する重要事項	保 12 看 11
教務委員会	毎月 1 回	教育課程の編成、学生の単位取得、授業時間割の編成、学生の履修指導、定期・追・再試験、研究生、科目履修生等の教務に関する事項及びその他教務に関する事項	9
学生委員会	毎月 1 回	学生指導の基本方針、学生活動、学生生活、学生の表彰・懲戒及びその他学生に関する事項	10
紀要委員会	必要の都度	編集方針、原稿の採否、掲載の順位、部数及びその他紀要に関する事項	4
大学評価委員会	必要の都度	教育研究等の状況に係る自己点検・評価、教育内容等の改善のための組織的な研修、教育研究等の状況に係る公表及びその他評価等に関する事項	5
就職委員会	必要の都度	キャリア及び就職の支援並びに対策の基本方針・実施内容・情報収集及びその他委員長が必要と認めた事項	3
第一種奨学金返還免除 候補者選考委員会	必要の都度	大学院第一種奨学金返還免除候補者の選考	-
図書運営委員会	必要の都度	図書館の運営の方針・企画、事業計画、調査及びその他図書館の運営に関する事項	6
保健管理センター 運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、健康管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	2
情報センター 運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、情報管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	-
国際交流センター 運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、国際交流の調査及び委員長が必要と認めた事項	1
アドミッションセンター 運営委員会	毎月 1 回	入学選抜の基本方針、学生募集、選抜の実施、選抜結果の分析、選抜の調査研究、学生確保に係る広報活動、その他センターの運営に関する事項	11
倫理審査委員会	年 3 回	「ヒトを対象とした研究」の研究の実施及び継続の適否の審査並びにその他委員会が必要と認めた事項	2
利益相反管理委員会	必要の都度	利益相反管理基準の制定及び改廃、利益相反による弊害の除去のため施策の策定、利益相反に関する審査・回避要請等、利益相反の管理のための調査、利益相反に関する学外対応及びその他利益相反に係る重要事項	2
ハラスメント防止対策委員会 大学分科会	必要の都度	ハラスメントの防止に係る実態調査・情報収集・啓発・研修の推進、再発防止に係る改善策の検討・実施及びその他ハラスメントに係る重要な事項	1
衛生委員会	毎月 1 回	職員の健康障害の防止及び健康の保持増進のための基本となるべき対策、労働災害の原因・再発防止対策	12
危機管理委員会	必要の都度	リスク情報の収集・分析、想定されるリスクの洗い出し・評価、リスクへの対応策の検討・立案・実施、危機管理マニュアルの作成・見直し、教職員・学生への教育・訓練の実施、危機対策本部に関する事項	2
防災対策委員会	必要の都度	防災に関する諸規則の制定・改廃、防災設備等の改善・強化、防災上の調査・企画、防災思想の普及・高揚及びその他防災対策に関する事項	-
FD委員会	必要の都度	FDの企画立案、FDの実施、FD活動の評価・結果分析及びフィードバック、FD活動の情報の収集・提供、その他FDに関する事項	2
附属クリニック 運営委員会	必要の都度	クリニック、センターの運営の方針・企画及びその他クリニック・センターの業務改善に関する事項	-
附属鍼灸センター 運営委員会			2
附属接骨センター 運営委員会			-
IR委員会	必要の都度	学生の学修動向・教育の成果等に関する情報の収集・分析、学長よりの特命事項に関する情報の収集・分析、その他大学の諸活動に関する情報の収集及び分析	5

名 称	開催頻度	審 議 内 容 等	R4 年度 開催数
動物実験委員会	必要の都度	動物実験計画の指針等及び本規則の適合性、動物実験計画の実施状況及び結果、施設等の管理状況及び実験動物の飼養保管状況、動物実験及び実験動物の適正な取扱い並びに関係法令等に関する教育訓練の内容又は体制、自己点検・評価、動物実験等に関する情報の公開、その他実験動物等の適正な実施のための必要事項	2
コロナ危機 対策本部会議	必要の都度	コロナ感染症に関する対応等について	-

※この他、毎週月曜日朝に大学事務局にて部課長会議を実施、各部署の業務遂行状況等を確認している。

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

専門学校 2校合同における運営会議を以下のとおり計 22 回実施した。その他、衛生委員会の回覧会議等、各 6 回実施した。

◆運営会議

開催月	回 数	開 催 日	議 題 等
令和 4 年 4 月	2 回	13(水)・27(水)	花田学園ワクチン職域接種(3 回目)、新型コロナウイルス感染状況、指定校、学校説明会
5 月	2 回	10(火)・27(火)	新型コロナウイルス感染状況、学校説明会、令和 5 年度入学式開始時間、成績証明発行期間、令和 5 年度指定校推薦入試
6 月	2 回	9(木)・23(木)	学校説明会、高校訪問、コミュニケーション技法の講義形式
7 月	3 回	7(木)・20(水)・ 30(土)	学校説明会、学園祭、新型コロナウイルス感染再拡大への対応
8 月	1 回	26(金)	学校説明会、令和 5 年度入学試験、田淵健一先生を偲ぶ会
9 月	2 回	9(金)・29(木)	田淵健一先生お別れの会、入試状況、学事予定、LINE 配信、
10 月	1 回	18(火)	令和 5 年度学事予定・授業予定、広報
11 月	2 回	4(金)・22(火)	令和 5 年度学事予定・授業予定、学校ホームページ業者選定、入試状況報告、田淵健一先生お別れの会
12 月	1 回	15(木)	令和 5 年度学事予定・授業予定、ホームページ制作会社プレゼンテーション、令和 4 年度卒業式
令和 5 年 1 月	2 回	7(土)・25(水)	今後の入試・追加入試、令和 5 年度学事予定・授業予定、令和 4 年度卒業式、学校案内・ホームページリニューアル進捗報告
2 月	2 回	7(火)・21(火)	令和 5 年度健康診断、令和 5 年度学事予定、学校案内・ホームページ制作進捗報告
3 月	2 回	7(火)・30(火)	卒業式進行確認、国家試験報告、入試状況・学事報告、イベント開催、次年度学校説明会日程検討

◆衛生委員会

奇数月に開催	学生並びに教職員のコロナ感染症防止に係る管理体制の確認・検討、ストレスチェックにおけるメンタルヘルス対策、労働災害対策、就業規則に係る労働環境の把握(働き方改革等) 他	6 回
--------	--	-----

◆事務局管理者会議(事務局長・総務部長・総務課長・会計係長)

1, 2 か月に 1 回程度開催	運営会議での決定事項並びに連絡事項等の周知、入試広報に係る学生募集内容の検討、当年度事業計画の進捗状況の確認並びに次年度以降の計画についての検討、各係における業務の進捗状況の確認、会計報告(予算含む) 他	6 回
---------------------	--	-----